

平成 29 年 8 月 18 日  
 海事局 船舶産業課

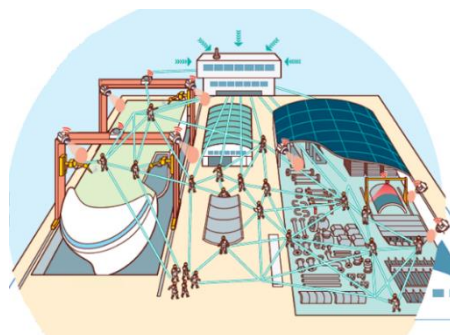
革新的造船技術の研究開発 (i-Shipping Production)  
 に対する 4 件の支援を決定しました

海事生産性革命 (i-Shipping) の一環として、国土交通省では、IoT技術やAIを活用する等の革新的造船技術の研究開発を支援しています。

今般、平成29年度予算による先進船舶・造船技術研究開発費補助事業（革新的造船技術研究開発）において、4件の技術開発に対して補助金交付を決定しました。

国土交通省は、IT を利活用して船舶の設計から建造、運航に至る全てのフェーズにおいてイノベーションの創出・生産性向上を目指す海事生産性革命 (i-Shipping) を推進しています。

今般、i-Shipping 推進の一環として、IoT 技術や AI を活用する等の革新的造船技術の研究開発を支援することとし、平成 29 年 6 月 1 日から 6 月 28 日までの期間、平成 29 年度予算による先進船舶・造船技術研究開発費補助事業（革新的造船技術研究開発）の二次募集を行った結果、造船事業者等から 5 件の応募があり、外部有識者により構成された評価委員会の評価を経て、下記の 4 件を補助対象として決定しましたので、お知らせいたします。



平成 29 年度 先進船舶・造船技術研究開発費補助事業（革新的造船技術研究開発） 二次募集採択一覧

事業者名	事業概要
今治造船 (株)	大型立体曲がりブロック用自動溶接ロボット 6 台連携システム
東京大学 小池酸素工業 (株) (株) 新来島どつく (株) 名村造船所	造船工場の見える化システムの開発基盤の構築
ジャパンマリンユナイテッド (株) (株) 神戸製鋼所	片面サブマージアーク溶接法の品質改善と生産性向上
日本ペイントマリン (株)	塗膜界面の評価技術及び新型塗料の開発

<参考>

- ・本事業は、IoT や AI 等の革新的な技術を用いた、生産性向上に資する造船技術の研究開発に対して、必要経費の 1/2 以下の補助金を交付。
- ・平成 29 年度一次募集においては、新しい溶接方式の導入に関する研究、IT を利用した作業支援システム開発、造船工程のヒト・モノの見える化、3 次元設計情報共有基盤の研究開発等 10 件を採択。

<お問合せ先>

国土交通省 海事局 船舶産業課 米谷・奥立  
 (代表) 03-5253-8111 (内線) 43-627、43-625  
 (直通) 03-5253-8634 (FAX) 03-5253-1644